

近畿運輸局 『地域連携サポートプラン』

交通の現状

人口減少やモータリゼーションの進展などに伴い、地域公共交通の利用者の更なる減少が見込まれ、交通事業者の自助努力のみによる地域公共交通ネットワークの維持には限界があるなど、地域における交通に関連する中長期的な課題が山積している。このような中、「コンパクト+ネットワーク」の実現を目指し、持続的な地域公共交通ネットワークを構築することが求められている。

地域公共交通の取組とは

地域公共交通の維持・改善は、交通分野の課題解決にとどまらず、まちづくり、観光、健康、福祉、教育、環境などの様々な分野で大きな効果をもたらすものであり、民間事業者を中心とした従来の枠組みから脱却し、地域の総合行政を担う地方公共団体が中心となってまちづくり、観光等の地域戦略の一環として取組む必要がある。

地域連携サポートプランとは

「地域連携サポートプラン」は、継続的な連携を基本に、地方公共団体の地域公共交通に関する取組みをこれまで以上に積極的に推進していくため、近畿運輸局と対象となる自治体と協定を結んだ上で、地域公共交通に関する現状把握、意見交換、これらを踏まえた課題の整理等及び課題解決に関する提案書の交付を行うことにより、地域公共交通網形成計画の策定などを通じて、地域公共交通に関する課題解決を目指す。

サポートプランの進め方

継続的な連携

運輸局・支局

市町村

①自治体との協定(各府県:年1団体程度)

②地域公共交通に関する現状把握

③意見交換

④課題の整理

⑤課題解決に関する提案書の交付

平成28年度 地域連携サポートプランの進め方

平成28年6月頃

自治体との協定の締結

- ◆近畿運輸局と自治体との間で「地域連携サポートプラン」協定を締結



平成28年6月頃～

課題解決に向けた取組の実施

- ◆地域公共交通に関する現状把握、意見交換などを行う



平成28年9月頃

現状把握などを踏まえた課題の整理

- ◆自治体と連携しつつ、現状把握、意見交換などを踏まえ課題を整理



平成28年11月頃

ワークショップの開催（運輸局・支局）

- ◆学識経験者など第三者の観点から、様々な意見や解決策を聴取



平成29年3月頃

課題解決に関する提案書の交付

- ◆近畿運輸局より課題解決に係る提案書を交付



その後、提案書を踏まえ、運輸局・支局においても、例えば、地域公共交通網形成計画の策定に関するアドバイスなど、より具体的な協力を行っていく。